

【◎成果と向上策】保護者・教員・児童の実現度の数値の高い項目、また、実現度が低くても、実現度伸長率が高い項目の中から抽出し、分析しました。

(1) 障害への理解を深め、一人一人を大切にされた教育を充実させること…設問3

【現状】特別支援コーディネーターを中心に、一人一人の児童の学習状況・行動の様子等について職員間で情報を共有するようにしています。また、保護者の依頼のもとにスクールカウンセラーと連携を取り、指導に生かしています。

【向上策】特別な支援が必要と思われる児童について、実態を把握し、どのような支援をしていくと向上させられるのか、特別支援コーディネーターやスクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーとの連携をしながら、個別支援推進補助員等を活用し、よりきめ細かく支援できるようにしていきます。

【ご家庭でも】お子さんの様子について、気になることがありましたら、担任や特別支援コーディネーターまで早めにご連絡下さい。



複数の教員によるきめ細かな指導

(2) 児童が、きちんと挨拶や返事をしたり、時と場に合った言葉遣いをしたりすること…設問24

【現状】この項目の実現度はまだまだ低いですが、保護者の数値で昨年度の4.6から今年度は4.9へと、教職員の数値で3.9から5.2へと、実現度が大きく向上しました。児童会やPTAの皆さんの朝のあいさつ運動や各学級における「あいさつ・返事・言葉遣い」の取組が向上につながったと考えられます。

【向上策】あいさつ運動など、PTAと児童が一体となった活動をさらに広げていきます。また、気持ちの良いあいさつを教師が率先垂範していきます。良い返事や挨拶の仕方、その場に合った言葉遣いができている児童をほめるとともに、他の児童のお手本として示していきます。

【ご家庭でも】朝起きたら「おはよう」、帰宅したら「お帰り」、寝るときは「おやすみ」など自然に言葉がかわるように、親子であいさつをし合うようにし、習慣づけられるようにお願いします。また、時・場・対人として、適切な言葉をつかった会話をするように心がけてください。



朝のあいさつ運動

(3) 基礎的な知識や技能を身に付けられるような学習を充実させること…設問8

【現状】めあてを示して学習に取り組ませ、最後に学習を振り返らせるようにしたり、課題提示・自己解決・集団解決・習熟の授業スタイルで授業を進めたりしています。また、パワーアップタイムの取り組みや計画的に宿題に取り組ませることなどにより、基礎学力の向上を図っています。

【向上策】児童のつまずきをに対応して、それを改善できるように、授業を進める中や授業時間外等で個別に指導する機会や時間を多くしていきます。

【ご家庭でも】音読を聞いて頂いたり、宿題の点検をして頂いたりしていますが、保護者のみなさんに見て頂くことが学力向上の近道でありますので、今後ご協力をよろしくお願い致します。



パワーアップタイム

(4) あたかな人間関係を築くための体験的な活動を充実させること…設問17

【現状】この項目は、今年度児童の実現度が一番高かった項目です。帰りの会で、友達のよい所を紹介する活動を通して、よい所を認め合う雰囲気を作ったり、クラスみんなで遊ぶ時間を計画し、実行したりして、よりよい関係作りに努めています。

【向上策】思いやりの心を育む異年齢集団や地域の人々との交流活動など、学年に合わせた体験活動を充実させていきます。

【ご家庭でも】人とかかわりのもとは家族の温かなふれあいです。家族においても、今まで以上に互いの考えを理解し、認め合ったり、協力し合ったりしていけるとよいと思います。



1・2年 遊びランド

(5) 学校が、児童の授業や行事の様子がよくわかるように、保護者や地域に積極的に情報を伝えること…設問31

【現状】学校便り、学級便り等で子どもたちの活躍の様子を毎週お知らせしています。ホームページも頻りに更新して、写真や文で子どもたちの様子をお伝えしています。

【向上策】子どもたちの活躍の様子がご家庭によく伝わるように、学校便り、学級便り・ホームページ等をさらに充実させます。

【ご家庭でも】日々更新されるホームページをできるだけご覧になってください。また、学級懇談会等へ積極的に参加して頂いて、お互いに情報交換がスムーズにできるようにしていきます。



勝山小学校ホームページ

【▲課題と改善策】保護者・教員のニーズ度の高い項目、実現度の低い項目の中から抽出し、分析しました。

(1) 課題を把握し、自ら考える授業を充実させること…設問10

【現状】自ら考える場面を想定しての授業づくりが、まだ十分とは言えないようです。また、考えることに抵抗と苦手意識をもっている子どもも多いようです。

【改善策】子どもたちの問題意識を生かした学習課題を設定し、それを解決していく学習を充実させ、自らの考えを出し合い、一人一人が活躍できる場や形態を工夫していきます。

【ご家庭でも】自らの考えを持つためには、その前提となる基礎的・基本的な知識が必要となります。読書・音読・漢字・計算を家庭で進めて頂くとともに、自然体験や各種活動に参加することを増やしていけるとよいと思います。

(2) 将来、社会人として自立していくための力を育てる教育を進めること…設問23

【現状】将来の夢や希望について各学級で話題にすることはありますが、それを意図した活動や授業は少なかったようです。

【改善策】各教科・道徳・学活・総合的な学習の時間等を活用して、望ましい職業観・労働観や自分の生き方について考えられるよう、意図的に指導する機会を増やしていきます。

【ご家庭でも】家族団らん、手伝い、読書、勉強など、メディア以外で楽しむ時間「ハッピータイム」を増やしていきましょう。夢や希望を家庭で、学期に1回くらいは話し合ってもらえるとよいと思います。

(3) コミュニケーションする楽しさを大切にされた、外国語教育を充実させること…設問14

【現状】高学年では、週1回外国語活動を行うことになっており、ALTの先生と一緒に学習を進めています。低・中学年においては、学期に1回程度ALTの先生と一緒に学習を進めています。

【改善策】低・中学年において、ALTの先生と一緒に学習を増やし、外国の文化に触れる機会を設けるとともに、それを通して自国の文化についても考えさせるようにします。

【ご家庭でも】テレビのニュース等で外国の様子がよく紹介されたり、事件や事故の状況が伝えられたりしています。他国との文化や習慣の違いから起きる事件も多くありますので、わかる範囲で他国の様子をお子さんに話して頂ければと思います。

(4) よりよい生き方を考えられるよう、道徳教育を進めること…設問15

【現状】各クラスで週1回、副読本等を活用しながら指導しています。しかし、道徳の価値項目が児童の身近なものとしてとらえづらかったり、児童の生活と結びつきにくかったりすることもあるため、よりよい生き方を考えられるような指導になっていないこともあります。

【改善策】平成30年度から「特別の教科 道徳」となる予定です。道徳の教科書を活用した指導が始まります。児童が多面的に考えることができる道徳への転換が図れるよう研修を進めていきます。

【ご家庭でも】学年・学級通信等で道徳での学習内容についてお伝えしていきたいと思っておりますので、お子さんと一緒によりよい道徳観について話し合っていたいただきたいと思います。

(5) 学習の効果を高められるよう、パソコンなどICT機器の活用を進めること…設問13

【現状】各教室においては、実物投影機を使って、子どもたちがノートに書いた自分の考えをテレビに投影したり、NHKの教育番組をインターネットを介して視聴させたりしています。また、パソコン室にタブレット型パソコンが導入され、活用が始まっています。

【改善策】タブレット型パソコンが導入されましたが、パソコン室以外でも活用できるよう研修を進めていきます。

【ご家庭でも】携帯電話やゲーム機器の使用において、ご家庭でルールを定め、情報モラルを遵守した使用ができるようにしてください。

平成 27 年度「勝山小教育に関するアンケート」のまとめと改善点について(報告)

向春の候、保護者の皆様にはますますご健勝のこととお慶び申し上げます。また、日頃より本校の教育活動にご理解とご協力を賜り、心から感謝申し上げます。

さて、2 学期末に実施した「本校教育に関するアンケート」では、お忙しい中ご回答いただき、大変お世話になりました。その結果（保護者向け・教職員向け・児童向け）を集計し、本校の今までの成果と今後の課題と改善策をまとめましたのでご報告いたします。

設問			保護者			教職員			児童
			重要度	実現度	ニーズ度	重要度	実現度	ニーズ度	実現度
1	学校力を高め	学校評価により明らかになった取組の成果と課題を家庭に知らせ、改善すること	6.0	5.2	16.8	6.2	5.2	17.4	
2	る学校	不登校やいじめ対策に、学校全体で組織的に取り組むこと	◎6.7	4.9	▲20.8	◎7.0	◎5.7	16.1	◎6.4
③	経営に	障害への理解を深め、一人一人を大切にされた教育を充実させること	◎6.9	◎6.0	◎13.8	◎6.9	◎5.7	◎15.9	
4	について	お子さんが楽しく学校に通っていること	6.5	◎5.4	16.9	6.8	5.1	19.7	6.1
5		安全管理や環境衛生管理を充実させ、安全確保に努めること	◎6.6	5.3	17.8	6.7	5.2	18.8	
6		関係諸機関と連携した危機管理体制を充実させ、交通安全教室や避難訓練の実施など安全教育に努めること	6.4	◎5.6	15.4	6.6	5.0	19.8	◎6.2
7	魅力あ	学ぶ意欲を高められるような授業づくりに努めること	◎6.6	◎5.4	17.2	◎7.0	5.2	19.6	5.8
⑧	ふれる	基礎的な知識や技能を身に付けられるような学習を充実させること	◎6.6	◎5.4	17.2	◎7.0	◎5.7	◎16.1	5.7
9	教育活	お子さんが、読書に親しむこと	6.2	4.9	19.2	6.5	◎6.2	◎11.7	5.7
⑩	動につ	課題を把握し、自ら考える授業を充実させること	6.3	▲4.8	▲20.2	6.8	4.6	▲23.1	▲5.3
11	いて	自分の考えをもち、友だちと交流しながら考えを深める授業を充実させること	6.4	5.1	18.6	◎6.9	4.7	▲22.8	5.7
12		体験的な学習を重視した授業を充実させること	6.1	5.3	16.5	6.2	4.7	20.5	6.1
⑬		学習の効果を高められるよう、パソコンなど I C T 機器の活用を進めること	▲5.4	▲4.5	18.9	▲5.8	▲4.4	20.9	◎6.2
⑭		コミュニケーションする楽しさを大切にされた、外国語教育を充実させること	6.1	▲4.5	▲21.4	5.9	▲4.4	21.2	5.9
⑮		よりよい生き方を考えられるよう、道徳教育を進めること	6.2	4.9	19.2	6.5	▲4.2	▲24.7	▲5.6
16		人権感覚を高め、自他の大切さを認め合える人権教育を進めること	6.3	▲4.8	▲20.2	◎6.9	5.3	18.6	◎6.3
⑰		あたたかな人間関係を築くための体験的な活動を充実させること	6.3	5.0	18.9	6.5	5.3	17.6	◎6.7
18		自然を愛し、自然を守る心を育む教育を進めること	5.9	4.9	18.3	▲6.1	▲4.4	▲22.0	5.8
19		集団や社会の一員としての自覚をもち、規範意識を高める指導を充実させること	6.1	5.1	17.7	◎6.9	5.5	17.3	5.8
20		運動好きな子どもを育てるための、体力づくりを進めること	6.0	5.3	16.2	6.7	5.5	16.8	6.0
21		基本的な生活習慣を身に付け、自分の健康を管理する力を育てること	6.3	5.1	18.3	◎6.9	5.0	20.7	▲5.3
22		健康な生活のために、バランスよく食べるなど望ましい食習慣を身に付けること	6.2	5.2	17.4	6.2	4.7	20.5	▲5.4
⑳		将来、社会人として自立していくための力を育てる教育を進めること	6.3	▲4.7	▲20.8	▲6.1	▲4.3	▲22.6	5.7
㉑		お子さんが、きちんと挨拶や返事をしたり、時と場に応じた言葉遣いをしたりすること	◎6.7	4.9	▲20.8	◎7.0	5.2	19.6	5.7
25		協力してよりよい学校生活をおくれるよう、主体的な学級活動や児童会活動の取組を充実させること	6.1	5.3	16.5	6.2	4.5	21.7	▲5.5
26		自分の役割を理解し、最後までやり抜く態度を育てる活動を進めること	6.5	5.2	18.2	6.8	5.2	19.0	◎6.2
27	地域と	P T A や家庭と連携した教育活動を進めること	▲5.7	◎5.4	◎14.8	6.3	5.4	16.4	
28	つなが	学校支援センター等の人材を学校で活かす仕組みづくりを進めること	▲5.4	4.7	17.8	▲5.6	4.5	19.6	
29	る学校	地域の自然、偉人や歴史にふれ、自然や文化にかかわる学習を進めること	▲5.8	◎5.6	◎13.9	6.3	5.4	16.4	
30	づくり	家庭、地域との連携を図り、地域行事や交流活動への参加やそれに向けた働きかけをすること	▲5.7	◎5.4	◎14.8	▲5.8	5.5	◎14.5	5.7
⑳	につ	学校が、児童の授業や行事の様子がわかるように、保護者や地域に積極的に情報を伝えること	6.1	◎5.6	◎14.6	6.2	◎6.1	◎11.8	

前橋市が作成した学校評価のスタイルに、学校独自の項目を取り入れ、学校評価を進めてきました。

まず、学校の課題をより明らかにするために、各設問に対して、「重要度」と「実現度」を回答していただき、その回答をそれぞれ得点化し、平均を出しました。その2つの数値を計算式にあてはめ、「ニーズ度」という値を算出しました。**ニーズ度は、重要度が高く、実現度が低いほど高い数値を示す**ものです。

今回、その「ニーズ度」「重要度」「実現度」をもとに、昨年度の実現度と比較した「実現度伸長率」も加味して、子どもたちの実態などを踏まえ、今後における向上策・改善策を考えました。設問番号が丸数字となっているのは、裏面で「成果と向上策」「課題と改善策」を分析している項目です。

*調査に対する回答
「大変重要である・よくできている」…7点
「やや重要である・大体できている」…5点
「あまり重要でない・あまりできていない」…3点
「重要でない・できていない」…1点
ニーズ度＝重要度×(8－実現度)

*ニーズ度の数値が高いほど、重要ですが実現度が低いということです。

*重要度、実現度、ニーズ度ともに、良好な数値の方から5つに◎をつけ、良好でない方から5つに▲をつけてあります。(数値が同じため、6・9つの項目もあります)

*児童用のアンケートは、設問の文章を、「あなたは～していますか」のような形に言い換えて行いました。また、児童は実現度のみ回答しているため、実現度が低いものを課題と考えています。